

学術支援センター(ADRES) 医科学研究支援部門
ケージ交換業務（動物実験施設）

機器・支援の名称	利用形態		利用単位	料金設定
ケージ交換業務	月極契約（週1回交換）*	マウス	1 ケージあたり	150
		ラット	1 ケージあたり	300
	緊急時等対応（1回限定）**	マウス	1 ケージあたり	150
		ラット	1 ケージあたり	300

※ 週1回ケージ交換を行うこととし、月極契約で自動継続とする。

注意事項・免責事項等は2ページ目を参照。

※※ やむを得ない場合にケージ交換を行うこととし、1回限定で契約を終了する。

注意事項・免責事項等は3ページ目を参照。

ケージ交換は当方で実施しますが
マウスの健康状態確認のため、定期的な観察をお願いいたします。

ケージ交換業務

○ 月極契約（週1回交換）

- ・ マウス 150円（1ケージあたり） × 総ケージ数（1カ月分）
- ・ ラット 300円（1ケージあたり） × 総ケージ数（1カ月分）

【注意事項】

- ① 委託料は、毎月の機器使用料の請求時に、申込講座宛てに請求を行うものとする。
- ② 初回申込以降は、自動継続（月極契約）とし、解約を希望する場合は、前月の25日までに動物実験施設(animalmail@m.ehime-u.ac.jp)へ申し出ること。
- ③ 申込可能ケージ数は、マウス50ケージ以上126ケージ以下、ラット20ケージ以上50ケージ以下の範囲とする。
〔ただし研究室立ち上げ時や人員不足により実験動物の適切な管理に支障が生じるような場合には、利用者側の事情に応じて対応を行いますのでご相談ください。〕
- ④ 月間の平均ケージ数（1カ月分の総ケージ数÷ケージ交換回数）が下限（マウス50ケージ、ラット20ケージ）を2カ月連続で下回った場合、または不適切にケージを増やしていると認められる場合、原則、翌月より契約を解除する。
- ⑤ エサ・水の補充、離乳は行わない。また感染が認められた場合、ケージ交換は行わない。
- ⑥ ケージのフタは月に1回を目安に交換を行う。
- ⑦ 免疫不全動物のケージは業務対象外とする。
- ⑧ GW・年末年始等の長期休業期間中は、職員が不在になるため、ケージ交換を行わない。
- ⑨ 施設側の人員体制などにより受入件数に限りがあるため、希望に添えない場合がある。

【免責事項】

- ① 本業務でのケージ交換作業によって、水漏れ等の不具合が生じた場合、職員の故意又は重過失に起因する場合を除き、当施設は一切の責任を負わないものとする。
- ② 本業務の利用期間中における飼養動物の逸走・怪我・死亡・感染等に関する事故に対して、職員の故意又は重過失に起因する場合を除き、本施設は一切の責任を負わないものとする。

○ 緊急時等対応（1回限定）

- ・ マウス 150円 （1ケージあたり） × ケージ数
- ・ ラット 300円 （1ケージあたり） × ケージ数

【注意事項】

- ① やむを得ない事情により、動物実験計画書に記載の動物実験責任者・実施者が、2週間以上にわたりケージを交換できない場合、緊急時等対応として、ケージ交換を行う（1回）。
- ② 原則として希望日の2日前（休日を除く）までに、利用者自身がケージ交換を行えない理由を添えて、動物実験施設(animalmail@m.ehime-u.ac.jp)へ申請すること（感染症など緊急時などの場合は要相談）。
- ③ 委託料は、利用があった月分の機器使用料の請求時に、申込講座宛てに請求を行うものとする。
- ④ 申込は、マウス126ケージ、ラット50ケージ（いずれも2ラック分）までの範囲とする。
- ⑤ エサ・水の補充、離乳は行わない。また感染が認められた場合、ケージ交換は行わない。
- ⑥ 免疫不全動物のケージは業務対象外とする。
- ⑦ GW・年末年始等の長期休業期間中は、職員が不在になるため、受け付けない。
- ⑧ 申込理由や、施設側の人員体制などによっては、希望に添えない場合がある。

【免責事項】

- ① 本業務でのケージ交換作業によって、水漏れ等の不具合が生じた場合、職員の故意又は重過失に起因する場合を除き、当施設は一切の責任を負わないものとする。
- ② 本業務の利用期間中における飼養動物の逸走・怪我・死亡・感染等に関する事故に対して、職員の故意又は重過失に起因する場合を除き、本施設は一切の責任を負わないものとする。